

## 国語とは

- 全ての学習の基本である「日本語」を学ぶ時間です。
- 人の思いや考えを知る方法を学びます。
- 自分の思いや考えを表現するための手立てを学びます。

## 授業での約束事

1 忘れ物をしない。

【必ず毎時間持ってくるもの】

- ・ 教科書（書き込みはOKですが、落書きはしない。）
  - ・ ノート（B5の大学ノートを縦書きで使います。）
  - ・ ワーク（国語スイッチ）
  - ・ のり（プリントをノートに貼るときに使います。）
  - ・ タブレット（配付されてからは必要です）
- ※もし忘れたときは、授業が始まる前に先生に申し出ましょう。

2 授業は真剣に取り組む。

- ・ 私語はせず、人（先生や友人）の話はしっかり聞く。
- ・ 自分で考えたこと、わかったことは、話し合いや、発表のときに積極的に発表する。
- ・ 発言や音読は、全員に聞こえる声ではっきりとした声を心がける。

3 ノートは工夫しながら丁寧に作る。

- 例
- ・ 黒板を写す
  - ・ 自分の考えや、友達の意見をメモする
  - ・ 大事な部分に色をつける
  - ・ もらったプリントを貼るなど

4 提出物は必ず出す。

## 評価について

① 知識・技能

- ・ 定期テスト
- ・ 漢字の広場や漢字テスト
- ・ 言葉のきまり
- ・ 書写 など

② 思考・判断・表現

- ・ 定期テスト
- ・ スピーチ
- ・ 聞き取りテスト
- ・ 作文
- ・ ワークシート など

③ 主体的に学習に取り組む態度

- ・ 振り返りシート
- ・ 提出物
- ・ 小テスト など



# 国語科の家庭学習方法

## 1 教科書を大きな声で音読しよう。

- 文章の意味をつかみながら音読してみよう。
- だれかに聞かせるつもりで、ゆっくり大きな声で読んでみましょう。
- 詩、短歌、俳句、古典は、何度も繰り返して読み、リズムを味わいましょう。

## 2 漢字を読んで書いて覚えよう。

- 漢字テストは、受ける前に必ず勉強しましょう。
- 漢字練習帳や家庭学習ノートを活用し、漢字の読み書きを何度も練習しましょう。
- 熟語だけの漢字練習もよいのですが、実生活で使えるようにその熟語を使った文を作ってみましょう。

## 3 その日のノートやワークシートを見直そう。

- 文章の読み方や、学んだ内容について復習しよう。
- その日の授業を思い出し、ノートに書き加えたり、整理をしてみたりしましょう。

## 4 ワークやプリント類を自分で説いてみよう。

- ワークは授業で習った日にやってみることをおすすめします。
  - ワーク・プリントは何度もやり直してみよう。
  - テストの解き直しもやってみるとよいでしょう。
- ※繰り返し解くことで定着します。

# プラスで学習してみよう

## ● 漢字検定で語彙力をアップしましょう。

青陵中学校では、一年に三回漢字検定を行っています。  
5級…小学校卒業・中一レベル 4級…中二レベル 3級…中三レベル  
過去には、準二級や二級(社会人レベル)に挑戦し、合格した例もあります。

## ● 読書をたくさんしてみましょう

読書は、心の栄養です。たくさんの本をよみましょう。読んだ本の感想を話しあえるともっとよいです。

## ● 一日一十分でも新聞に目を通してみましょう。

スポーツの話題、社会の動き、季節の話題などたくさんあります。まずは興味のあるところからよんでみましょう。



## ● 新聞のコラムや気に入った小説の一部、古典の名文などを書き写してみましょう。

言葉の調子の整え方や、文章の運びなどが自然に身につきます。

## ● わからない言葉に出会ったらすぐに辞書をひきましょう。

辞書ではなくても、電子機器(パソコンやスマホなど)で調べたり、人に聞いてみたりしてもよいです。使える言葉が少しずつ増えていきます。